

# 柳瀬川回廊事業推進検討委員会 今後の検討のための資料

2016年10月19日 福島 司

## A. 柳瀬川回廊構想（平成18年3月）の要点

### 1. 柳瀬川回廊構想の基本的な考え方

- ・柳瀬川回廊構想は自然環境を生かした豊かで潤いのあるまち「緑と水の拠点」として位置づける。
- ・柳瀬川回廊構想の目的は、柳瀬川流域の水辺空間をまちづくりに生かし、水辺が持つ多彩な機能をだれもが楽しみ、生活に活気と潤いをもたらす空間を創出すること。
- ・柳瀬川回廊構想の性格は、柳瀬川流域の水辺、緑、親水施設、文化財を遊歩道でネットワーク、水と緑の回遊空間とする。

### 2. 整備課題と整備方針

- ①散策路の整備
- ②交通安全の確保
- ③サイン（標識）の設置
- ④椅子の設置
- ⑤駐車場、駐輪場の整備
- ⑥インフォメーションコーナーの設置
- ⑦広報活動（柳瀬川回廊のPR）

### 3. 整備後の課題

- ①緑地等の保全…萌芽更新の推進、財源の確保、農業振興
- ②公園整備…内容や規模を多様化させ拡大
- ③水質・流域環境の保全…公共下水道処理区域の面的整備、不法投棄の阻止、マナー遵守のキャンペーンに努める
- ④生態系の回復…流域の植生や生態系の調査を実施。多自然型河道の整備の検討。柳瀬川の固有種の回帰、復活を図る。
- ⑤文化財の保護活用…柳瀬川の紹介や文化財等に関する学習情報の提供する拠点を作る。
- ⑥推進体制の確立…庁内に計画推進にかかわる部局間の定期的な連絡調整体制の構築、市民団体の活動への積極的な支援、自然保護レンジャー制度の拡充。
- ⑦情報発信…柳瀬川回廊を広報媒体を駆使して広く情報発信を行う。

## B. 第1回会議（2016年8月17日開催）の意見内容

### 1. これまでに市民・庁内から提案された意見（要点）

#### 1) 市民からの提案

- ・伊藤ヨシ氏より寄付を受けた土地を農業公園として利用する。

#### 2) 庁内からの提案

- ・柳瀬川流域遊歩道に「距離表示」標識を設置する。
- ・寄付を受けた土地8か所に花卉や果樹を育成し、周遊庭園とする。

### 2. 第1回会議で提案された意見

- ・柳瀬川通り沿いの市有地に回廊コースを設置（追加して繋ぐ）、対象となる場所の草刈りを含めた管理の徹底を検討が必要。
- ・全体のコースの見直しを含めた検討が必要。
- ・伊藤氏から寄付を受けた土地の有効な活用の検討が必要。
- ・都有地、私有地を含めた回廊の拡大の検討が必要。
- ・川辺の再生管理が必要。
- ・散策コースの標識設置、トイレの建設が必要。
- ・柳瀬回廊の検討の視点としては、川を中心とした線でなく、周辺を含めた面としてとらえることが必要。
- ・雑木林の路の再認識、再整備が必要。

## C. 今後検討が必要な項目とその内容

### 1. 検証「レビュー」の実施

柳瀬川回廊構想（平成18年3月）から現段階までの時間的経過を踏まえ、「整備課題と整備方針」、「整備後の課題」について、どこまで実施できたのかを検討する必要がある。

- ・項目ごとの成果の検証
- ・今後の対応方法についての整理

### 2. この委員会で検討する内容と確認の明確化

- ・検討対象とする空間の範囲
- ・検討する内容の範囲

### 3. ストーリーの整理

- ・検討する項目の整理…大項目とその中の項目整理
- ・検討する項目と内容ごとに求めたい成果（検討結果）についての整理